

第1章

MFA 利用手順書

電子入札システムでは、ID／パスワードでのログイン画面において、セキュリティ強化のためにワンタイムパスワードによる多要素認証(MFA)を採用しています。本書では、MFA 利用手順について説明します。

・MFA を利用する場合
以下の順で実施ください。

・MFA を利用しない場合
以下実施ください。

1 ワンタイムパスワード初期設定

MFA で必要となるワンタイムパスワード初期設定(アプリインストール/設定)について説明します。



2 システムログイン(2回目以降)

ワンタイムパスワード初期設定後のシステムログインについて説明します。

3 MFA を「利用しない」を選択する方法

MFA を「利用しない」を選択する方法について説明します。

※必要に応じて、以下補足説明を参照ください。

4 補足説明

以下について説明します。

- ・MFA 利用済の状態から、MFA を「利用しない」に変更する方法
- ・複数端末で MFA を利用する方法
- ・認証済端末破損/紛失、担当者変更に伴う利用端末変更時の対応方法(MFA 設定初期化)

1.1 ワンタイムパスワード初期設定

1.1.1 認証システムアプリの入手

1. 画面説明

ワンタイムパスワード認証システムアプリの入手方法を説明します。
本手順書では電子入札システム少額物品ログイン画面の場合の操作例を記載します。
なお、少額物品利用者変更画面も同様の操作となります。

2. 操作説明

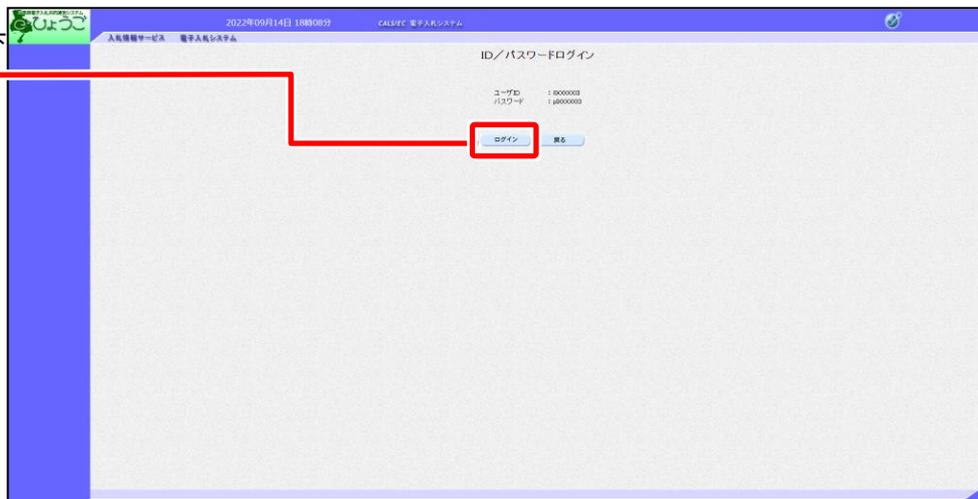
Step 1

ID / パスワードを入力し、入力内容確認ボタンを押下する



Step 2

ログインボタンを押下する



Step 3

「認証システムアプリの入手先を表示」を押下する



Step 4

スマートフォンの場合はQR、PCの場合はリンクからアプリをインストールする



「1.1.2 認証システムアプリインストール、設定」へ進みます



1. 1. 2 認証システムアプリインストール、設定

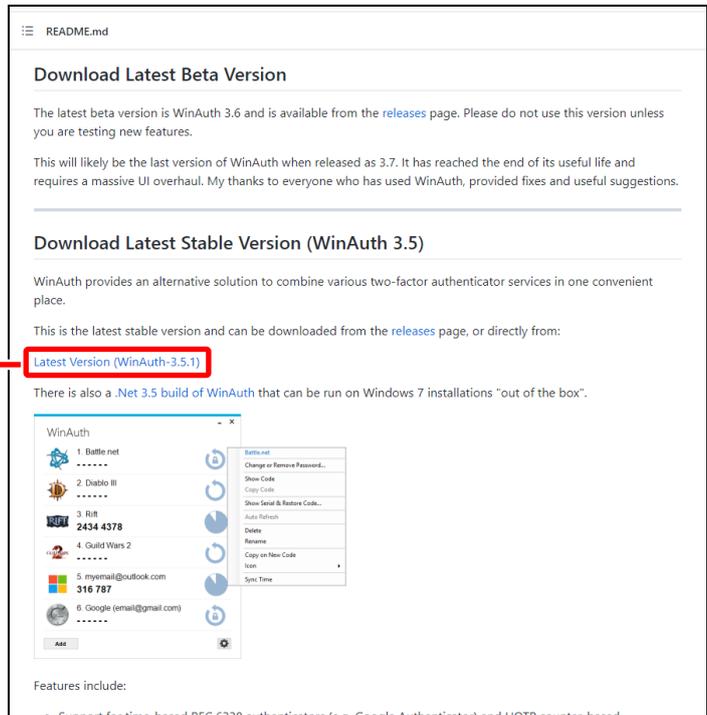
1. 1. 2. 1 PC 用アプリ

Step 1

<https://github.com/winauth/winauth> からダウンロードサイトへ遷移する

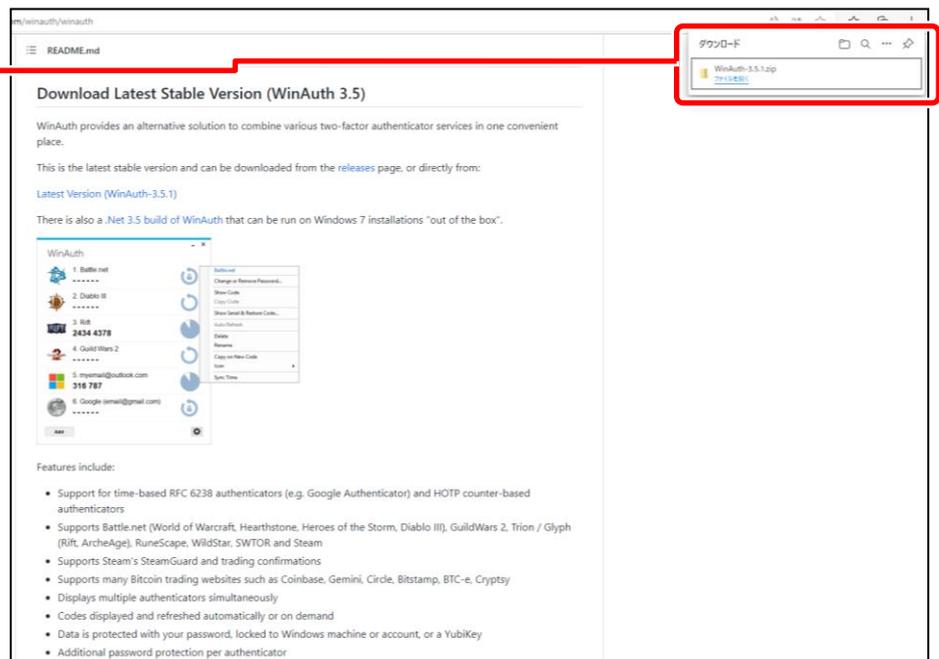
Step 2

「Latest Version～」を
押下する



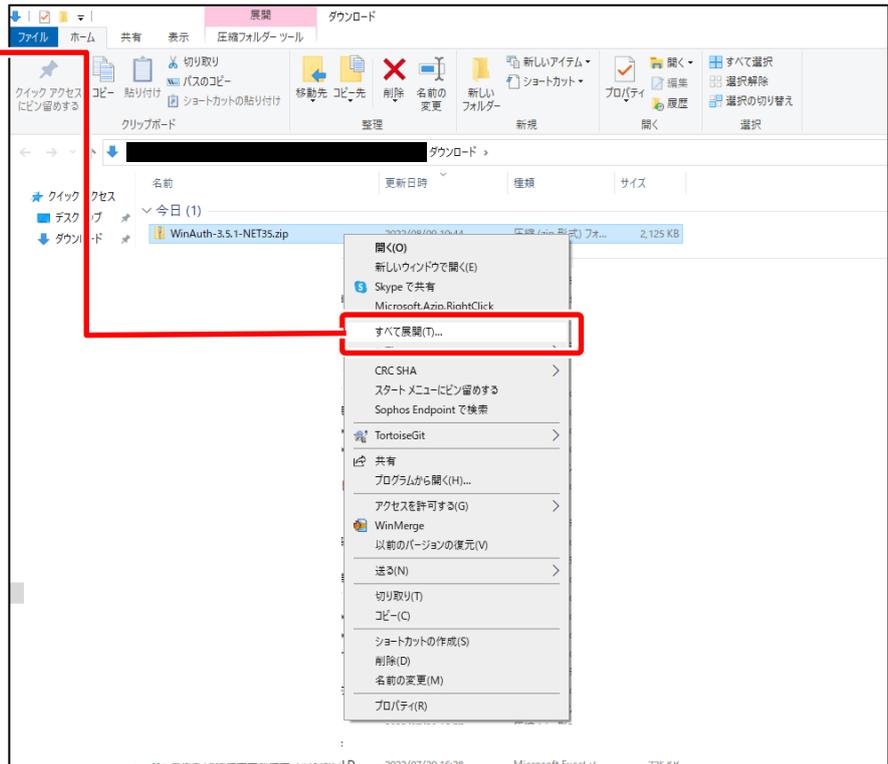
Step 3

ファイルのダウンロードが自動的に
行われる
ダウンロードが完了後、「フォルダを
開く」を押下する



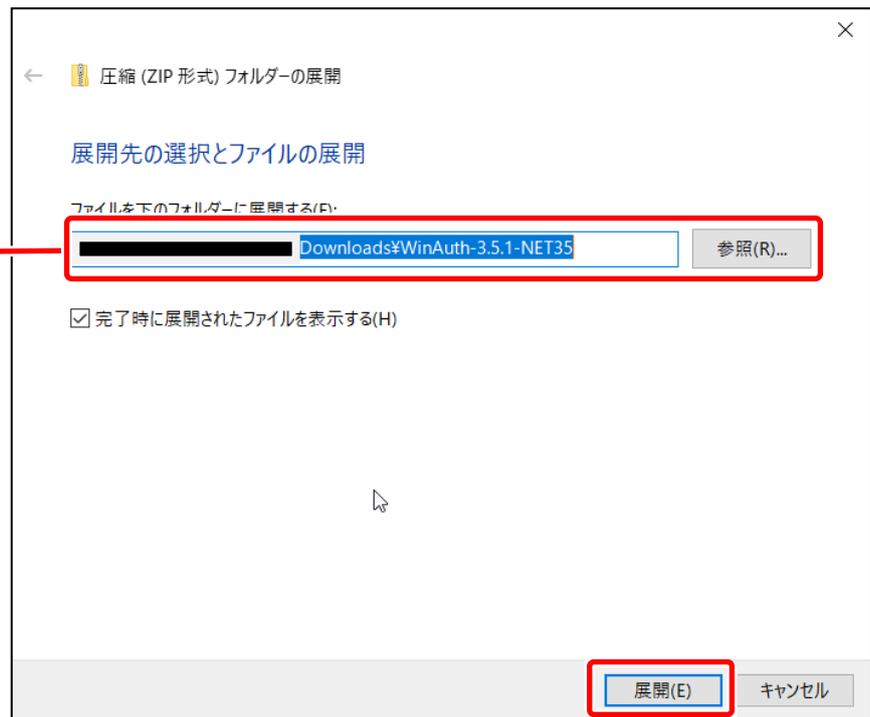
Step 4

フォルダが開くので、対象の zip を「右クリック」→「すべて展開」



Step 5

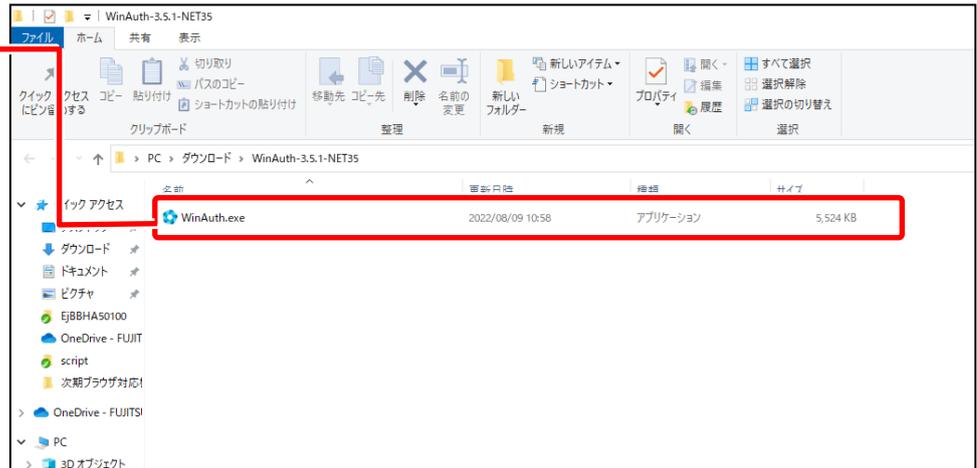
展開先に任意の場所を選択し、展開ボタンを押下する



1.1 ワンタイムパスワード初期設定

Step 6

WinAuth.exe をダブルクリックする



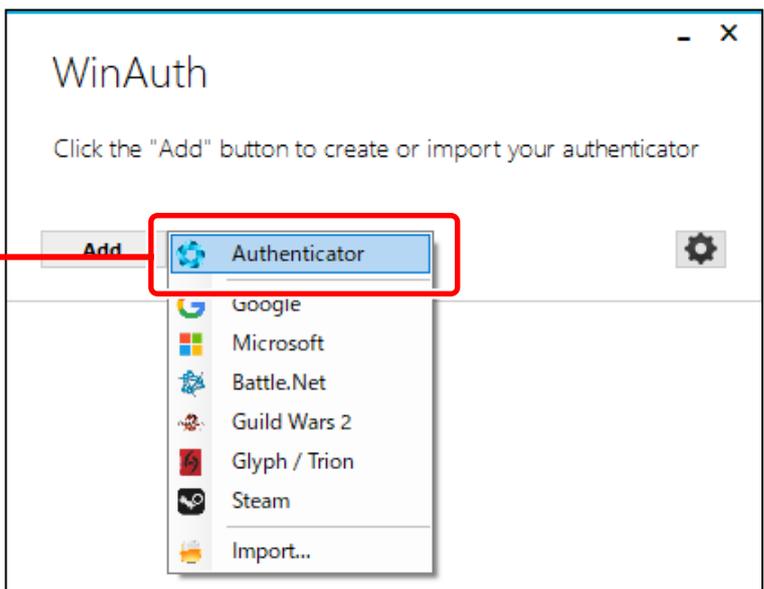
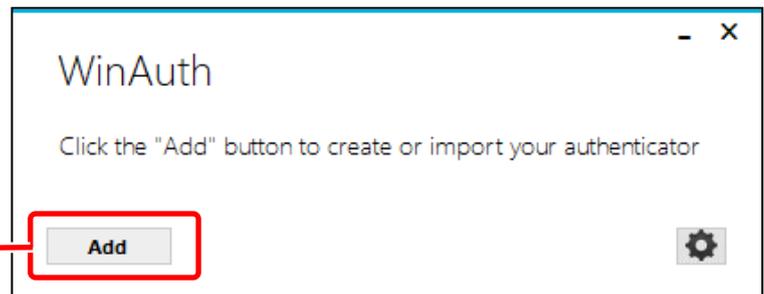
ワンポイント

PC 版の場合、「WinAuth.exe」を毎回実行してワンタイムパスワードを確認することとなります。

初期セットアップ時にダウンロードした「WinAuth.exe」は削除せず、任意のフォルダへ配置をお願いします。

Step 7

Add を押下後、Authenticator をクリックする



Step 8

右のような画面が表示される

Name は任意のものを設定可能
 (「〇〇県〇〇市電子入札」など、どのシステムの設定か判別できるように入力)

Add Authenticator

Name:

1. Enter the Secret Code for your authenticator. Spaces don't matter. If you have a QR code, you can paste the URL of the image instead.

2. Choose if this is a time-based or a counter-based authenticator. If you don't know, it's likely time-based, so just leave the default choice.

Time-based Counter-based

3. Click the Verify button to check the first code.

4. Verify the following code matches your service.

※ご利用になる調達機関毎の設定が必要となるため、判別できるように入力してください。

Step 9

「1.1.1 認証システムアプリの入手」の Step 3 の画面を開き、「シークレットキーを表示」ボタンを押下する

ワンタイムパスワード初期設定

ログインするには、ワンタイムパスワードが必要です。
 ワンタイムパスワードは、認証システムアプリで生成することができます。
 認証システムアプリは、スマホ用と、PC用があります。予めインストールを行い初期設定を行ってください。
 初期設定を行うとワンタイムパスワードを確認することができます。

- ・まだ準備が出来ていない為、10日間はそのままログインする。
- ・今後、ワンタイムパスワードを利用しない。

1 初期設定：QRコードをスキャンするか、シークレットキーを入力してください

認証システムアプリの入手先を表示

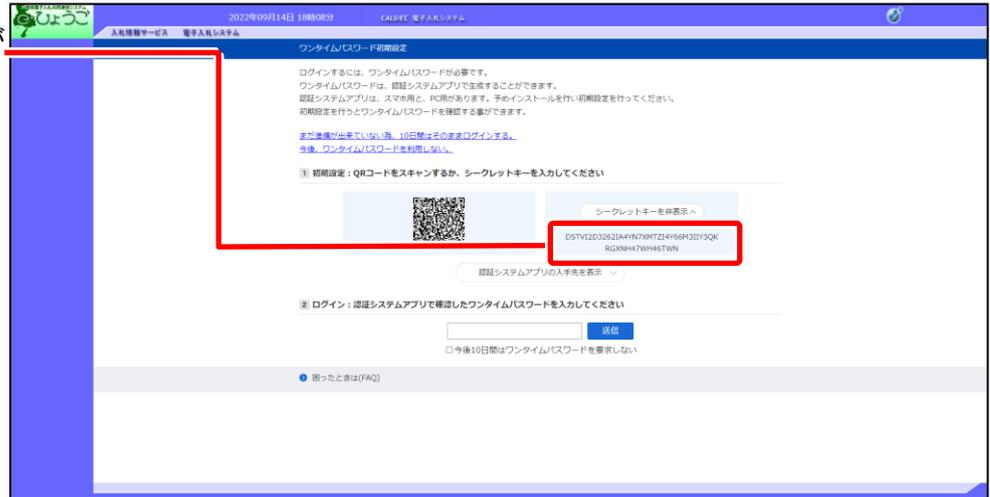
2 ログイン：認証システムアプリで確認したワンタイムパスワードを入力してください

エラーメッセージ最大30文字 エラーメッセージ最大30文字エラー
 今後10日間はワンタイムパスワードを要求しない

困ったときは(FAQ)

1.1 ワンタイムパスワード初期設定

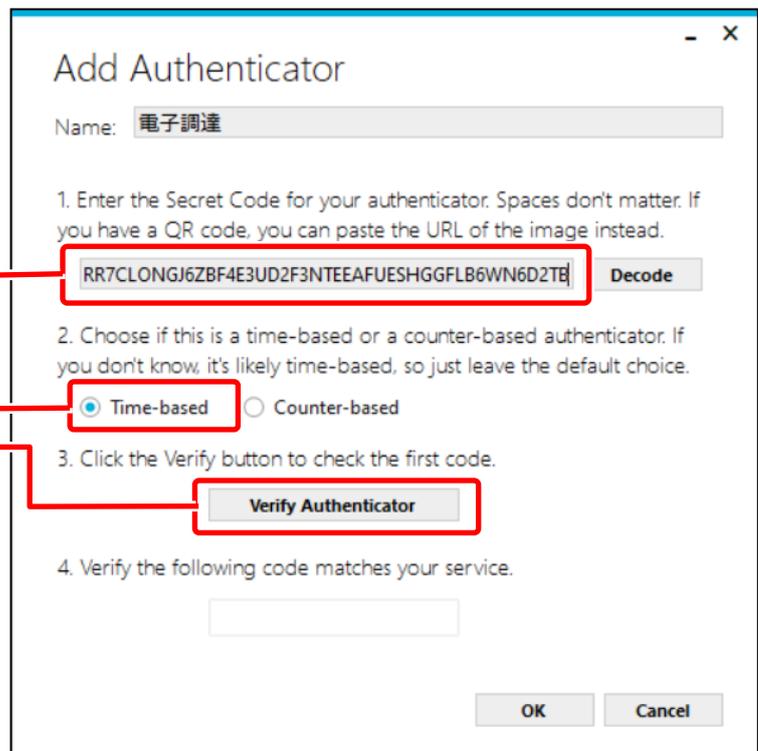
Step 10 シークレットキーが表示される



Step 11 Step 10 で取得したシークレットキーを「1.Enter the Secret Code for ...」のテキストボックスに入力する

ラジオボタンは「Time-based」を選択する

「Verify Authenticator」をクリックする



Step 12

ワンタイムパスワードが表示される(Step 11 まで設定完了すると自動的に表示されますがここでは特に使用しません)

「OK」をクリックする

Step 13

認証システムアプリに対してパスワードを設定する画面が表示されるので、任意の設定を行い「OK」を押下する
※認証システムアプリ起動時に入力が必要となるパスワードです。

【パスワードを設定する場合】
・Password: 任意のパスワードを入力
・Verify: 確認入力(上記と同じパスワード)

【パスワードを設定しない場合は、左上の青いチェックを外して「OK」を押下する



ワンポイント

Step13 で設定するパスワードは、WinAuth 自体のセキュリティのためのものであり、システムで利用されるものではありません。マルウェア等によりアプリ上のデータを取得されてしまうことを防ぐためのパスワードです。

1.1 ワンタイムパスワード初期設定

Step 14 6桁のワンタイムパスワードが生成される



※時間がたつとワンタイムパスワードが無効になるが、右側のボタンを押下することで、また新しいパスワードが生成される



Step 15 Step 14 で生成されたワンタイムパスワードを、システム側に入力し、送信ボタンを押下する



Step 16 業務画面へ遷移する





ワンポイント

生成したワンタイムパスワードを自動でコピーできる機能があります。

1. ワンタイムパスワードの画面を表示する
2. 数字のもしくはハイフンの付近でマウスの右クリック
3. 画面のようなメニューが表示されるので「Copy on New Code」をクリックする



ワンポイント

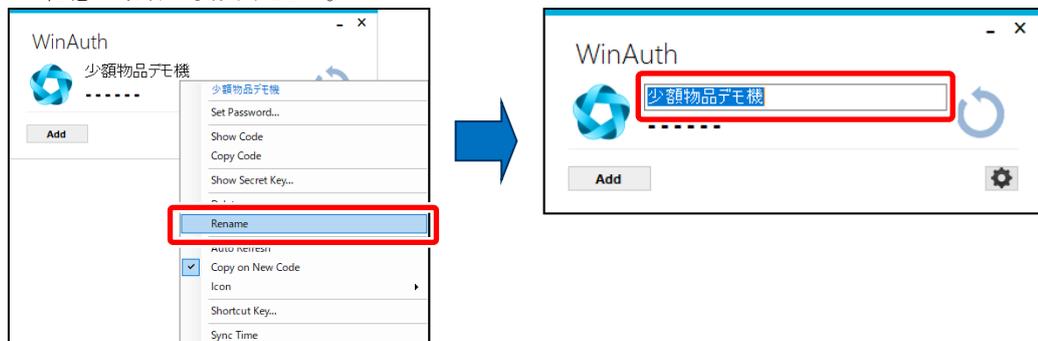
同じ利用者で、2画面以上登録する場合も初期設定手順と変わりません。

1つ目の画面が登録された状態で、再度「1-6 ページ Step 7」から実施ください。



ワンポイント

ワンタイムパスワードの名称を変更したい場合は、対象機関の名称の上で右クリック→「Rename」を選択して任意の名称に変更ください。



1.1.2.2 スマートフォン用アプリ

Step 1

QRコードを読み取る

「1.1.1 認証システムアプリの入手 Step4」のQRコードを読み取る（iphoneの場合はAppStore、Androidの場合はGoogle Playで「Google Authenticator」と検索することもアプリ入手可能）



ワンポイント

QRコードが読み込めない場合は、ブラウザの表示サイズを拡大してから再度QRコードの読み込みをお願いします。

※ブラウザの表示サイズは、【Ctrl】キーを押しながら、マウスのスクロールホイールを上下に動かすことで調整可能です。

※【Ctrl】+【0】で元の画面サイズ(100%)に戻せます。

Step 2

アプリを入手する

「入手」ボタンを押下する
※すでにインストールされている場合は「開く」ボタンが、インストールしたことがある場合はクラウドマークが表示される



Step 3

インストール後、アプリを開き、「開始」ボタンを押下する

**Step 4**

「QR コードをスキャン」を押下する



1.1 ワンタイムパスワード初期設定

Step 5

スマートフォンのカメラが起動するので、「1.1.1 認証システムアプリの入手」の Step 3 の画面を開き、QRコードを読み取る



Step 6

ワンタイムパスワードが生成される

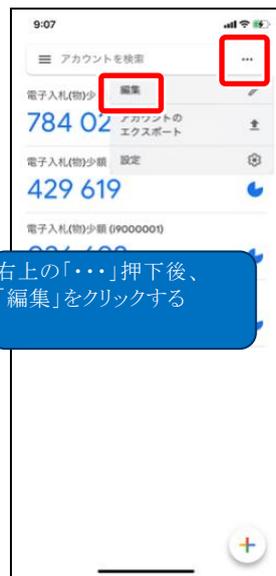




ワンポイント

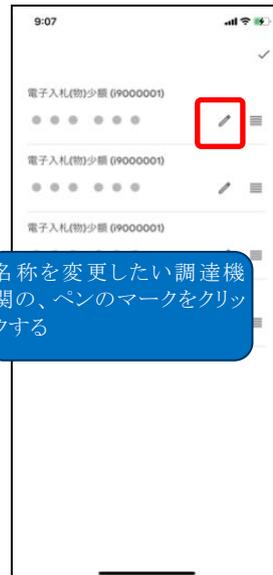
スマホアプリにおいて、ID 部分の名称変更が可能です。
これにより、調達機関ごとの識別が可能となります。
※以下、iphone の場合の操作例となります。

1.



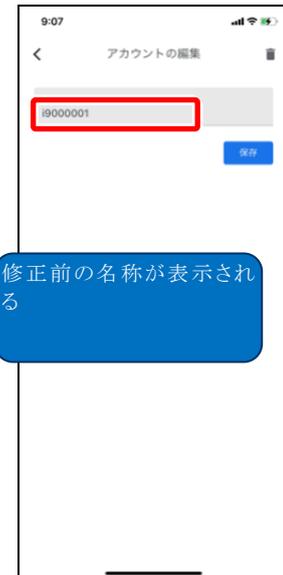
右上の「⋮」押下後、「編集」をクリックする

2.



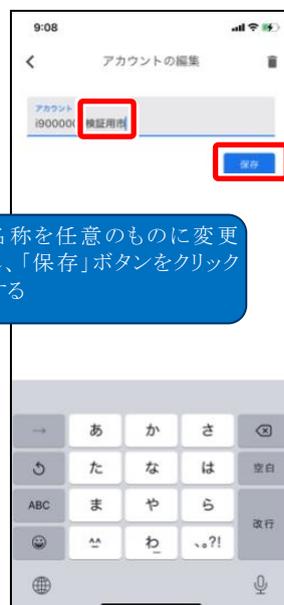
名称を変更したい調達機関の、ペンのマークをクリックする

3.



修正前の名称が表示される

4.



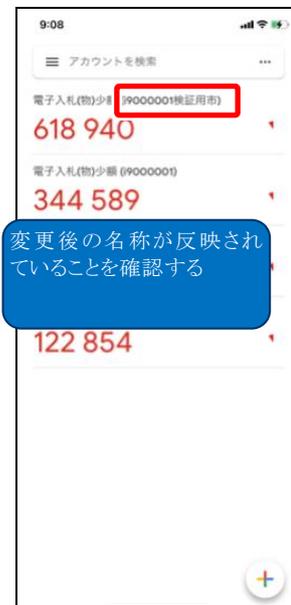
名称を任意のものに変更し、「保存」ボタンをクリックする

5.



右上のチェックマークをクリックする

6.



変更後の名称が反映されていることを確認する

1. 1 ワンタイムパスワード初期設定

Step 7

Step 6 で生成されたワンタイムパスワードを入力し、送信ボタンを押下する



Step 8

業務画面へ遷移する



ワンポイント

同じ利用者で、2画面以上登録する場合は以下参照ください。



以降の手順は、「1-14 ページ Step 5」と同様になります。



ワンポイント

「まだ準備が出来ていない為、10日間はそのままログインする。」という項目があります。これは、アプリをインストールする端末(PCまたはスマートフォン)が準備できていない場合に、これを選択すれば10日間は従来通りの運用、10日後に再度この画面を表示することが可能となる機能です。

ワンタイムパスワード初期設定

ログインするには、ワンタイムパスワードが必要です。
ワンタイムパスワードは、認証システムアプリで生成することができます。
認証システムアプリは、スマホ用と、PC用があります。予めインストールを行い初期設定を行ってください。

まだ準備が出来ていない為、10日間はそのままログインする。

1 初期設定：QRコードをスキャンするか、シークレットキーを入力してください

シークレットキーを表示

認証システムアプリの入手先を表示

2 ログイン：認証システムアプリで確認したワンタイムパスワードを入力してください

送信

エラーメッセージ最大30文字 エラーメッセージ最大30文字 エラ

今後10日間はワンタイムパスワードを要求しない

困ったときは(FAQ)

1.2 システムログイン(2回目以降)

1.2.1 システムログイン(2回目以降)

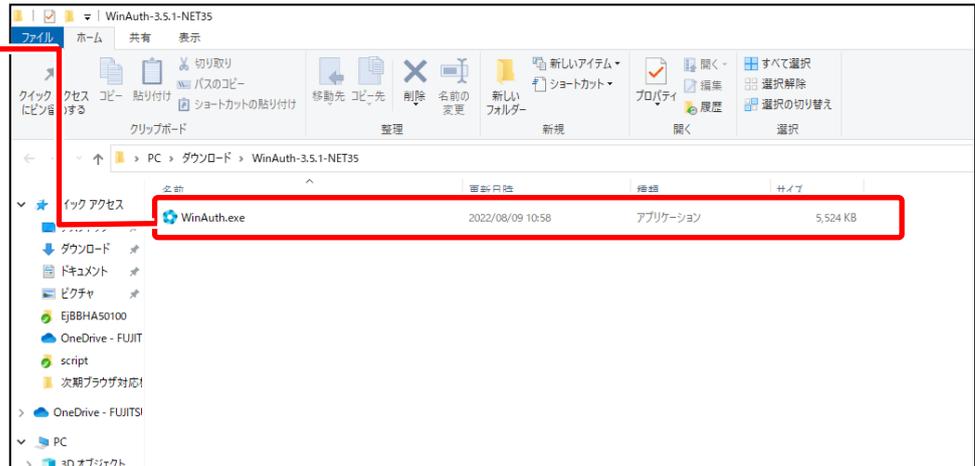
1. 画面説明

ワンタイムパスワード初期設定後のシステムログインについて説明します。
以下手順は2回目以降ログインされる際の手順となります。

2. 操作説明

Step 1

WinAuth.exe をダブルクリックして WinAuth を起動する



※ワンタイムパスワードを取得する際、WinAuth を起動しておく必要があります。

「1.1.2.1 PC 用アプリ」の Step 13 でパスワードを設定した場合は、設定済みパスワードの入力後に起動します。

(スマートフォンの場合は Step1 の手順は不要です。)

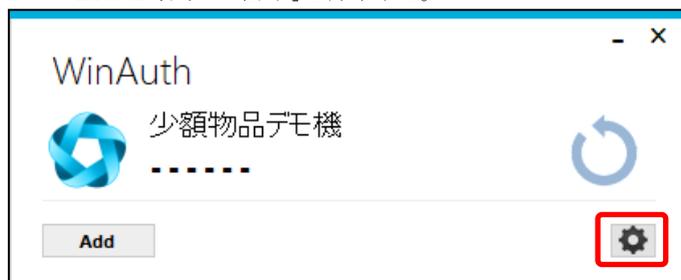


ワンポイント

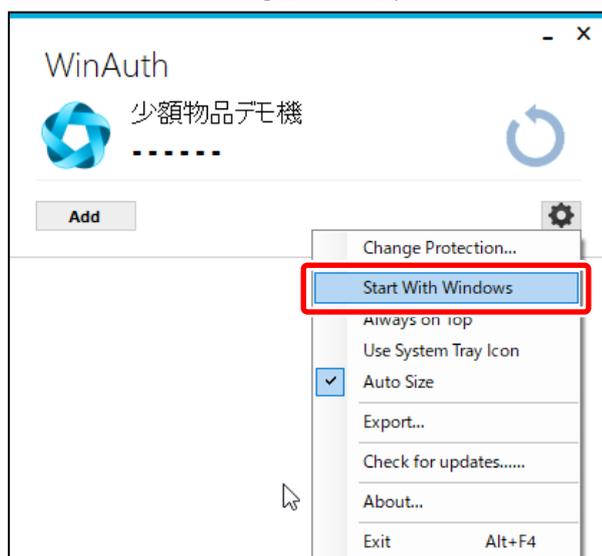
WinAuth のスタートアップ機能を使うことで、パソコン起動時に WinAuth を自動で起動することができます。

以下、スタートアップ設定手順となります。

1. WinAuth 右下の「歯車」を押下する。

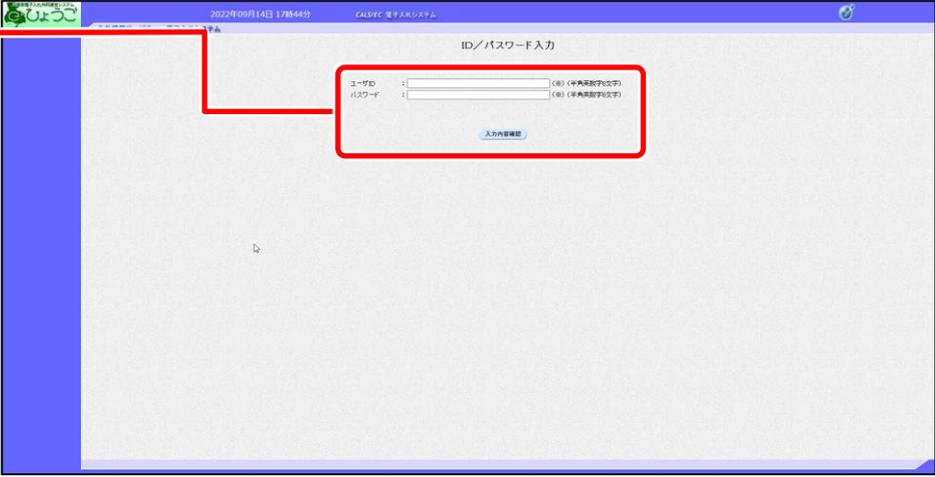


2. 「Start With Windows」を押下する。



1. 2 システムログイン(2回目以降)

Step 2 ID／パスワードを入力し、入力内容確認ボタンを押下する

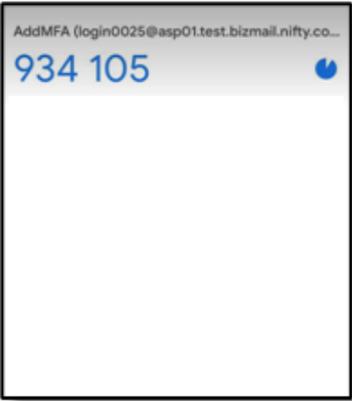


Step 3 ワンタイムパスワードを確認する

PC 用アプリ



スマホ用アプリ



Step 4 Step2 で確認したワンタイムパスワードを入力し、送信ボタンを押下する



Step 5 ログインが完了し、業務画面に遷移する



1.3 MFAを「利用しない」を選択する方法

1.3.1 MFAを「利用しない」を選択する方法

1. 画面説明

利用者側でMFAを「利用しない」を選択する方法を説明します。

2. 操作説明

Step 1

ID / パスワードを入力し、ログインする



Step 2

初期設定画面において、「今後、ワンタイムパスワードを利用しない。」を選択する



次回以降、当画面が表示されず、従来通りの運用が可能となります。



ワンポイント

MFA を「利用しない」を選択後に、MFA を利用しなくなった場合は、システム側で設定変更が必要です。

以下の内容で、電子調達ヘルプデスクにメールでご依頼ください。

メール宛先	jichi1-cals-mfareset@ml.css.fujitsu.com
件名	MFAを「利用しない」から「利用する」への変更依頼
本文	<p>以下内容を記載ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象発注機関（※初期化対象の発注機関を記入してください。） 〇〇県/〇〇市 対象画面（※初期化対象の画面をすべて記入してください。） 例）少額物品利用者変更、少額物品 ID/パスワードログイン ユーザ ID（※ログイン時のユーザ ID を記入してください。） 〇〇〇 所属名等 （※入札参加資格者名簿に登録されている会社名及び資格者名、 または部署名を記入してください。） 例1）〇〇株式会社 代表者 〇〇〇（または受任者 〇〇〇） 例2）〇〇県/〇〇市〇〇部〇〇課 依頼された担当者 〇〇〇 連絡先電話番号 999-9999-9999

1.4 補足説明

1.4.1 MFA 利用済の状態から、MFA を「利用しない」に変更する方法

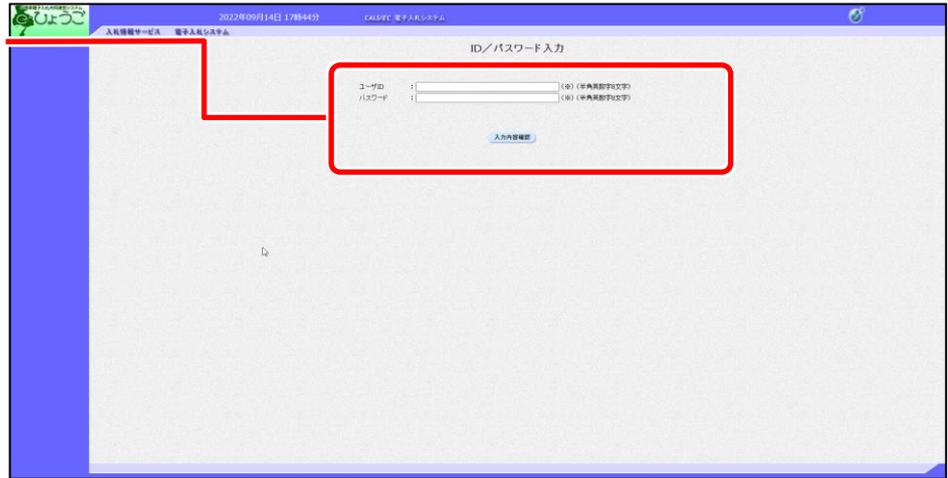
1. 画面説明

MFA 利用済の状態から、MFA を「利用しない」に変更する方法を説明します。

2. 操作説明

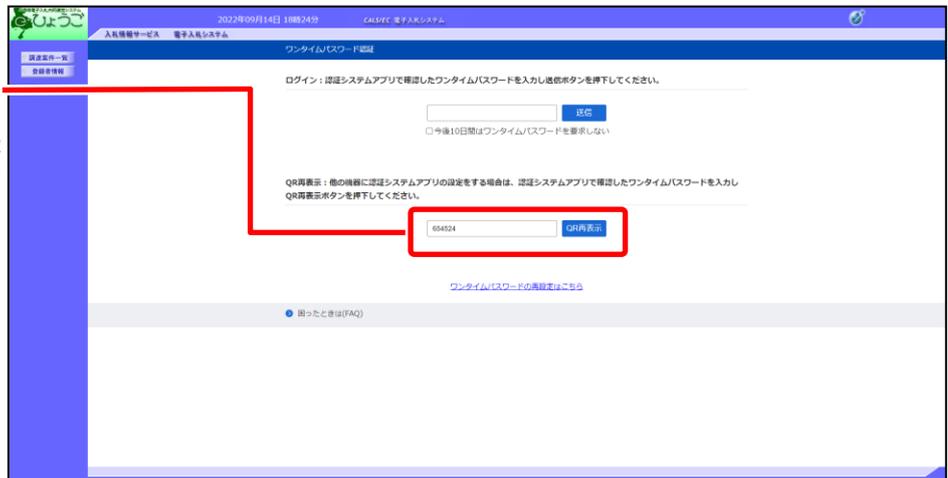
Step 1

ID / パスワードを入力し、ログインする



Step 2

QR 再表示のテキストボックスに、認証済みの端末で生成されたワンタイムパスワードを入力し、「QR 再表示」ボタンを押下する



Step 3

初回の画面が表示されるので、「今後、ワンタイムパスワードを利用しない。」を選択する

ワンタイムパスワード初期設定

ログインするには、ワンタイムパスワードが必要です。
ワンタイムパスワードは、認証システムアプリで生成することができます。
認証システムアプリは、スマホ用と、PC用があります。予めインストールを行い初期設定を行ってください。
初期設定を行うとワンタイムパスワードを確認することができます。

まだ準備が出来ていない為、10日間はそのままログインする。
今後、ワンタイムパスワードを利用しない。

1 初期設定：QRコードをスキャンするか、シークレットキーを入力してください



▼

2 ログイン：認証システムアプリで確認したワンタイムパスワードを入力してください

エラーメッセージ最大30文字エラーメッセージ最大30文字エラー

今後10日間はワンタイムパスワードを要求しない

[困ったときは\(FAQ\)](#)

1. 4. 2 複数端末で MFA を利用する方法

1. 画面説明

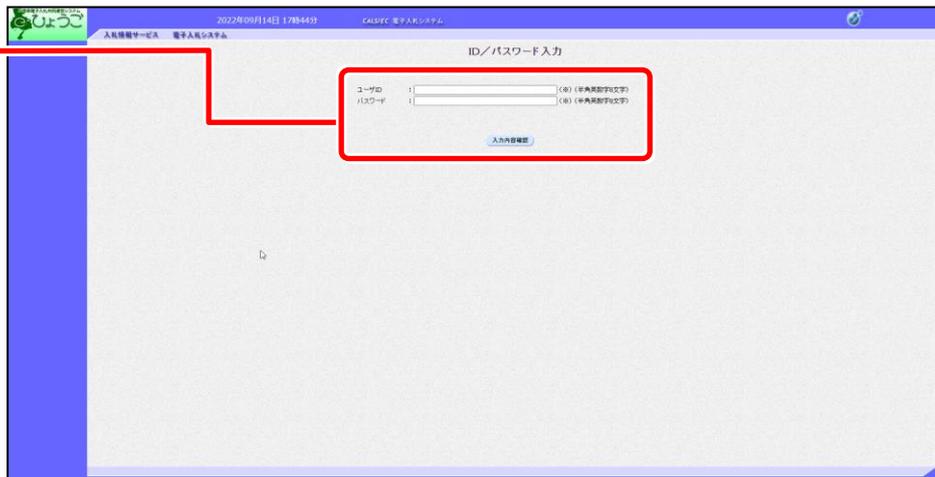
複数端末で MFA を利用する方法を説明します。
この操作は2台目以降の端末で行うものとなります。

2. 操作説明

【PC の場合】

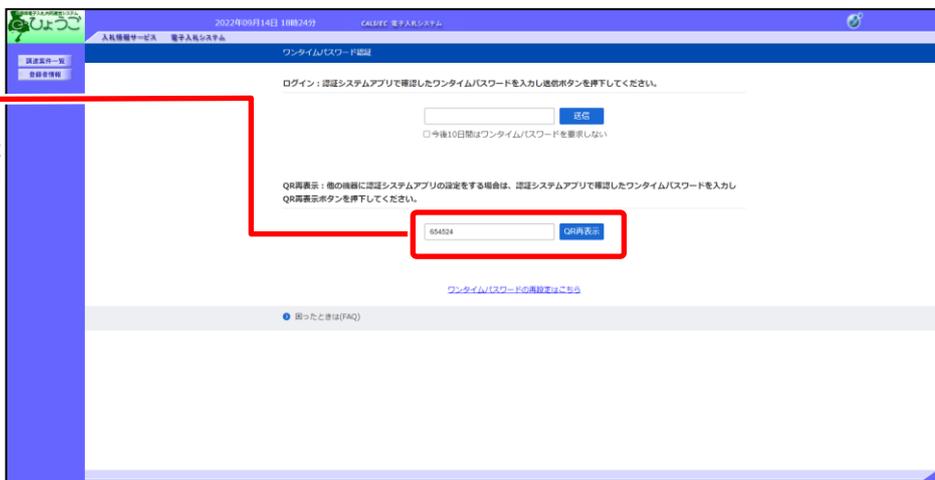
Step 1

ID / パスワードを入力し、ログインする



Step 2

QR 再表示のテキストボックスに、認証済みの端末で生成されたワンタイムパスワードを入力し、「QR 再表示」ボタンを押下する



Step 3

「1.1.1 Step3」の画面が表示されるので、シークレットキーを表示し、1台目と同様の設定をする

ワンタイムパスワード初期設定

ログインするには、ワンタイムパスワードが必要です。

ワンタイムパスワードは、認証システムアプリで生成することができます。

認証システムアプリは、スマホ用と、PC用があります。予めインストールを行い初期設定を行ってください。

初期設定を行うとワンタイムパスワードを確認することができます。

- ・まだ準備が出来ていない為、10日間はそのままログインする。
- ・今後、ワンタイムパスワードを利用しない。

1 初期設定：QRコードをスキャンする、シークレットキーを入力してください

シークレットキーを表示

認証システムアプリの入手先を表示

2 ログイン：認証システムアプリで確認したワンタイムパスワードを入力してください

送信

エラーメッセージ最大30文字エラーメッセージ最大30文字エラー

今後10日間はワンタイムパスワードを要求しない

困ったときは(FAQ)

※シークレットキーは1台目の端末と同じ値になります。



ワンポイント

WinAuth(PC用アプリ)の場合は、アプリ上から、シークレットキーを表示してコピーできます。QR再表示をせずに、2台目以降の端末の設定が可能です。



ワンポイント

複数端末に設定する場合は、WinAuth の Export 機能を用いて2台目以降の端末に MFA の設定をする方法もあります。
参考として、以下に手順を記載します。

※参考【PC の場合 (WinAuth を用いて2台目以降の端末に MFA 設定する方法)】

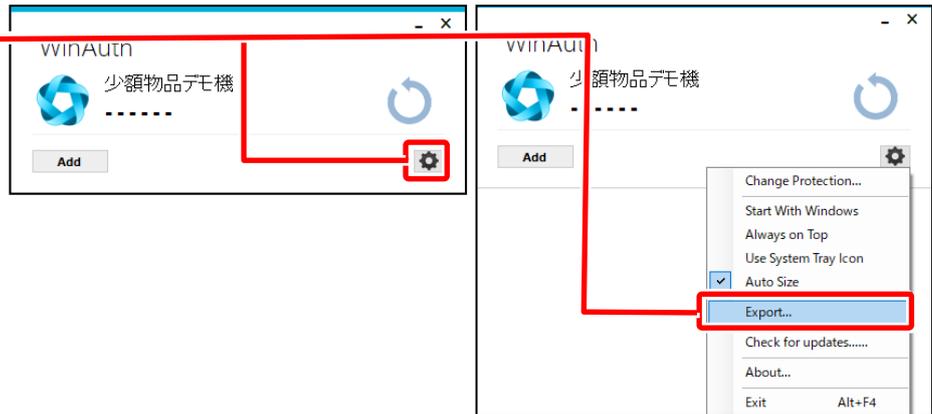
Step 1

MFA 設定済みパソコンでエクスプローラーから「WinAuth.exe」をクリックする



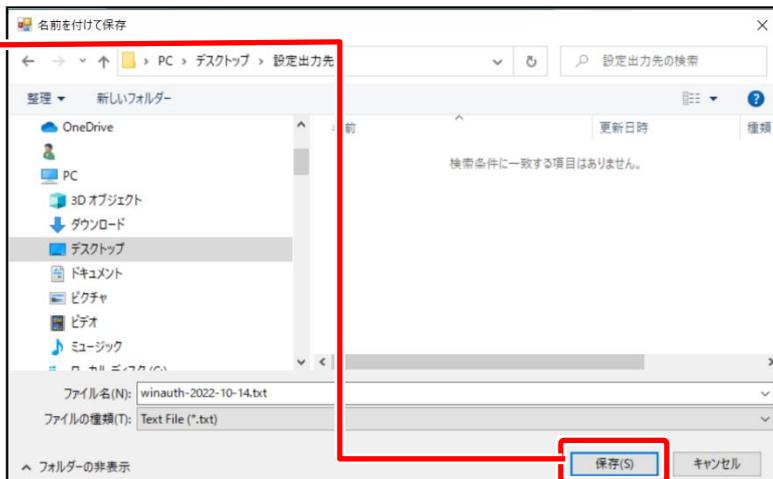
Step 2

右下の「歯車」をクリックし「Export」を選択する



Step 3

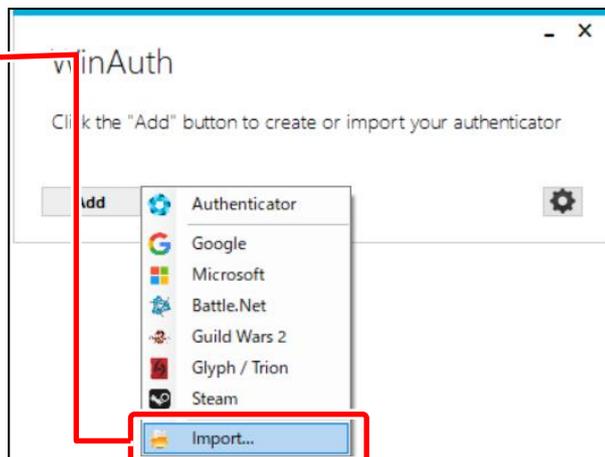
設定情報 (テキストファイル) の出力先を指定し「保存」をクリックする



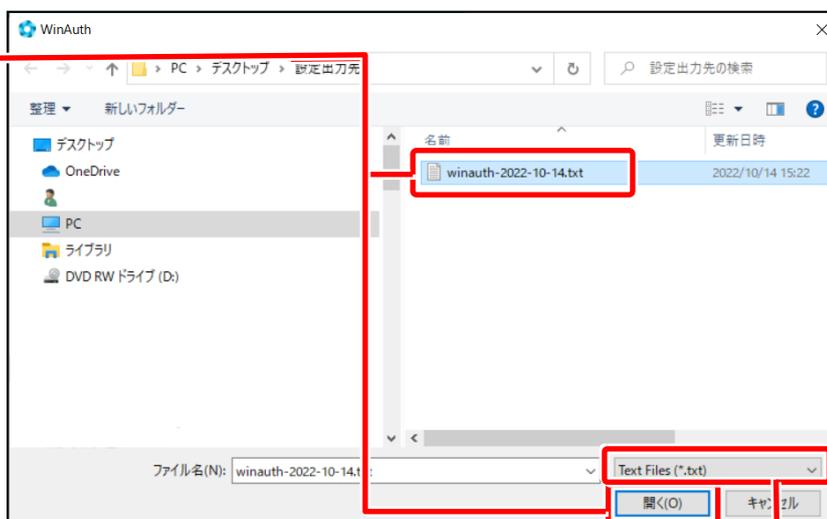
Step 4 MFA 未設定のパソコンでエクスプローラーから「WinAuth.exe」をクリックする



Step 5 左下の「Add」をクリックし「Import」を選択する



Step 6 Step 3 で保存したファイルを指定し「開く」を選択する

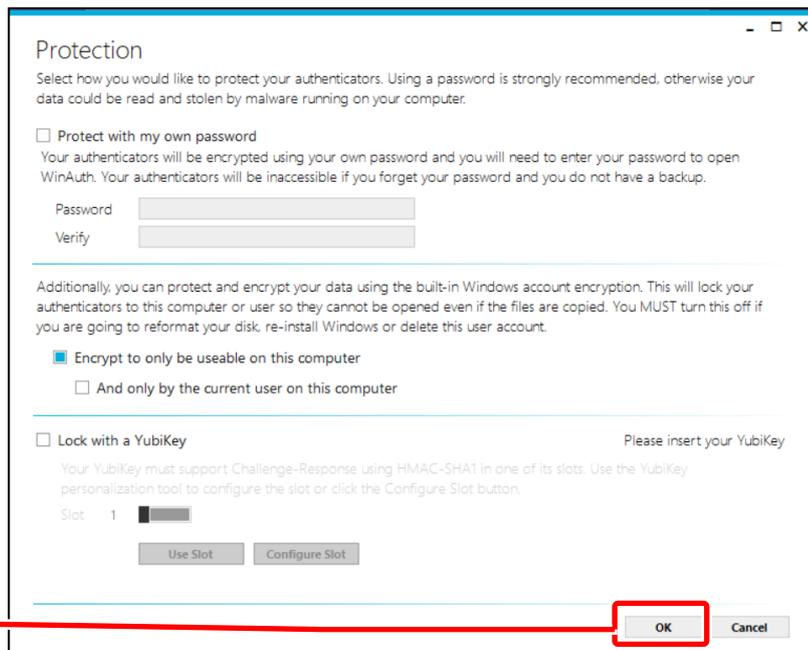


※選択の際ファイル拡張子を「Text Files」にすること

Step 7

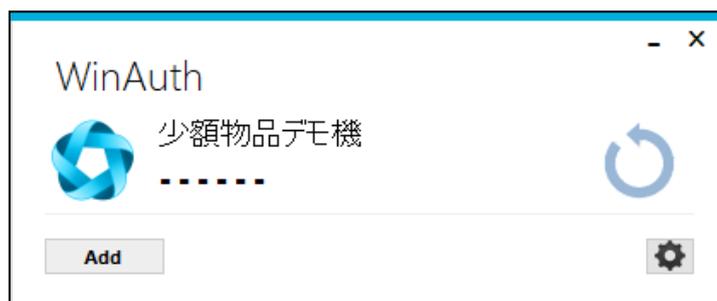
1-9 ページ目の Step 13 を参考に、1 台目と同様に設定する

その後「OK」を押下する



Step 8

Import 完了を確認する



【スマートフォンの場合】

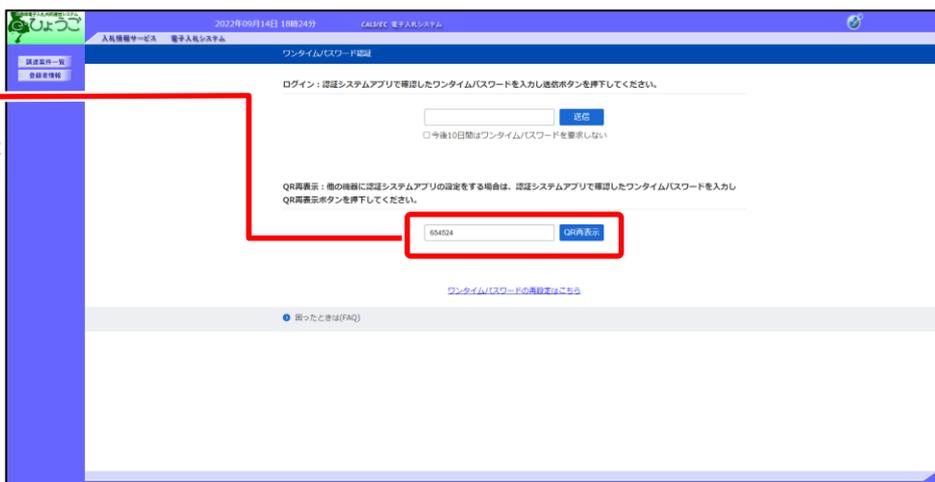
Step 1

ID／パスワードを入力し、ログインする



Step 2

QR 再表示のテキストボックスに、認証済みの端末で生成されたワンタイムパスワードを入力し、「QR 再表示」ボタンを押下する



Step 3

「1.1.1 Step3」の画面が表示されるので、QRコードを読み取り、1台目と同様の設定をする





ワンポイント

複数端末で設定した場合は、同じワンタイムパスワードが表示されます。

1.4.3 認証済端末破損/紛失、担当者変更に伴う利用端末変更時の対応方法 (MFA 設定初期化)

1. 画面説明

認証済端末破損/紛失、担当者変更に伴う利用端末変更時の対応方法(MFA 設定初期化)を説明します。
(※利用端末のユーザーアカウント変更時も同様の対応方法となります)

2. 操作説明

Step 1 利用者から電子調達ヘルプデスクに、メールで初期化依頼する

※以下の内容でご依頼ください。

メール宛先	jichi1-cals-mfareset@ml.css.fujitsu.com
件名	MFA 初期化依頼
本文	<p>以下内容を記載ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 初期化の理由 (※a～c で該当しないものを削除してください。) <ol style="list-style-type: none"> パソコンまたはスマホを変更したため パソコンまたはスマホが故障したため その他(可能な範囲で理由を記入してください) 対象発注機関 (※初期化対象の発注機関を記入してください。) <p>〇〇県/〇〇市</p> 対象画面 (※初期化対象の画面をすべて記入してください。) <p>例) 少額物品利用者変更、少額物品 ID/パスワードログイン</p> ユーザ ID (※ログイン時のユーザ ID を記入してください。) <p>〇〇〇</p> 所属名等 <p>(※入札参加資格者名簿に登録されている会社名及び資格者名、 または部署名を記入してください。)</p> <p>例1) 〇〇株式会社 代表者 〇〇〇(または受任者 〇〇〇)</p> <p>例2) 〇〇県/〇〇市〇〇部〇〇課</p> 依頼された担当者 <p>〇〇〇</p> 連絡先電話番号 <p>999-9999-9999</p>

Step 2

電子調達ヘルプデスクが初期化処理実施後に、利用者が新端末で初期設定(「1.1.1 認証システムアプリの入手」から)する



注意

複数端末でMFAを利用している場合、初期化処理を実施すると、破損/紛失/旧担当者端末以外の端末を含む全端末で再度初期設定が必要となります。また、認証システムアプリ上から、既存のアカウント情報を削除も必要となります。